

4-16 資金運用の状況

本学の資金運用について

2016年3月末の資金運用状況を報告いたします。

本学の運用は満期保有を目的とした債券中心の有価証券に投資を行っており、元本の安全性を重視したものになっています。

2015年度決算は、2014年度に引き続き運用方針に沿い、流動性を担保しつつ投資を行ってきた結果、有価証券購入支出5,986百万円を計上しました。そのうち残存期間1年以上の有価証券への投資は2,959百万円でした。2016年度以降も引き続き、元本の安全性を重視した運用を行ってまいります。

なお、本学が保有する有価証券のうち、一般企業（未上場企業）への投資を目的とした有価証券（元本500百万円）について、2012年度に時価評価の下落による評価替えを行っていますが、2015年度は評価替え後の簿価を上回る特別分配金を受けたことにより、有価証券売却差額21百万円を計上しました。

また、学校法人会計基準では、貸借対照表の注記欄に保有する有価証券の時価情報を記載することが定められています。資産計上額と時価評価額との差額は、2014年度決算では1,410百万円でしたが、2015年度決算において、時価の回復により時価評価額が資産計上額を1,547百万円上回りました。

以上